

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年1月17日 (2013.1.17)

【公表番号】特表2005-504044(P2005-504044A)

【公表日】平成17年2月10日 (2005.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-006

【出願番号】特願2003-518606(P2003-518606)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 16/28

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

C 1 2 N 5/00 B

C 1 2 P 21/08

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年11月21日 (2012.11.21)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効剤として H E R 3 活性の阻害剤及び製薬学的に認容性の基材、希釈剤及び / 又は佐剤を含む製薬組成物において、前記阻害剤の H E R 3 に対する結合が H E R 3 媒介シグナル伝達を減弱させ、前記阻害剤は、ハイブリドーマ細胞系 D S M A C C 2 5 2 7 から産出した抗体 1 B 4 C 3 およびハイブリドーマ細胞系 D S M A C C 2 5 1 7 から産出した抗体 2 D 1 D 1 2、そのフラグメント、ならびにその組換え誘導体から選択された抗 H E R 3 抗体であり、シグナル伝達の前記減弱が、1 B 4 C 3 により媒介された細胞表面からの H E R 3 分子の少なくとも部分的な消失を生じる H E R 3 のダウンレギュレーションにより生じるか又はシグナル伝達の前記減弱が実質的に不活性形での 2 D 1 D 1 2 により媒介された H E R 3 の安定化により生じる、前記組成物。

【請求項 2】

阻害剤がヒレグリンの H E R 3 への結合と拮抗しない、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記抗体がモノクローナル抗体又はそのフラグメントである、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記抗体が組換え抗体又は抗体フラグメントである、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 5】

組換え抗体又は抗体フラグメントがキメラ化抗体、ヒト化抗体、単鎖抗体及びそのフラグメントから選択される、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 6】

前記抗体が標識付け基又はエフェクター基と結合されている、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

診断適用のための請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

治療用適用のための請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の H E R 3 活性の阻害剤の増殖過剰疾患、特に腫瘍疾患の診断、予防又は治療用の薬剤の製造用の使用であって、その際、前記阻害剤は、ハイブリドーマ細胞系 D S M A C C 2 5 2 7 から産出した抗体 1 B 4 C 3 およびハイブリドーマ細胞系 D S M A C C 2 5 1 7 から産出した抗体 2 D 1 D 1 2、そのフラグメント、ならびにその組換え誘導体から選択された抗 H E R 3 抗体である、前記使用
。

【請求項 10】

乳癌、胃腸癌、膵臓癌、前立腺癌、神経膠腫、メラノーマ又は腫瘍転移生成の診断、予防又は治療用の請求項 9 に記載の使用。

【請求項 11】

前記疾患が、H E R 3 磷酸化の増加と関連がある、請求項 9 または 10 に記載の使用。

【請求項 12】

前記疾患が、H E R 2 / H E R 3 ヘテロ二量体化の増加と関連がある、請求項 9 から 11 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 13】

前記疾患が、P l ₃ - キナーゼ、c - j u n - 末端キナーゼ、A K T、E R K 2 及び / 又は P Y K 2 の活性の増強と関連がある、請求項 9 から 12 までのいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 14】

ハイブリドーマ細胞系 D S M A C C 2 5 1 7。

【請求項 15】

ハイブリドーマ細胞系 D S M A C C 2 5 2 7。

【請求項 16】

請求項 14 または 15 の細胞系により産出された抗体。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

従って、本発明は、有効剤として特異的タイプの H E R 3 活性阻害剤及び製薬的に認容性の基材、希釈剤及び / 又は佐剤を含有する製薬組成物に関する。本発明の H E R 阻害剤は、H E R 3 への阻害剤の結合が H E R 3 媒介シグナル伝達を減弱させることを特徴とす

る。態様の一つでは、H E R 3 媒介シグナル伝達の減弱を、H E R 3 のダウンレグレーションにより引き起こしてもよく、細胞表面からのH E R 3 分子の少なくとも部分的な消失を生じる。本発明のもう一つの態様では、H E R 3 媒介シグナル伝達の減弱を、細胞表面上のH E R 3 の実質的に不活性形、即ち安定化されてない形に比して低いシグナル伝達を生じる形に安定化することによって引き起こすことができる。